



太陽っ子

～ かしこく やさしく たくましく ～



令和6年8月28日

第6号

文責 小田 博臣



前期後半が スタートしました！

前期前半がスタートしました。本当に猛暑の夏でしたが、今年はオリンピックとパラリンピックが開催され、連日、選手の皆さんのが全力を出し切る懸命な姿や活躍に、感動と元気をもらった方々も多かったのではないでしょうか。

ただ、地震や日々の事故等のニュースも多くあり、子供たちはどのように生活をしているのだろうと心配をしていたところですが、夏休み明けの登校日には元気な姿を見せててくれて、ほっとしたところです。

夏休み期間の子供たちの学習面・安全面においてもご支援いただきありがとうございました。学校にも久しぶりに子供たちの活気がもどりましたので、またみんなで力を合わせて、学習や学校生活に積極的に取り組んでいきたいと思います。

しかし、まだまだ厳しい暑さが続きます。学校生活のリズムを早く取り戻し、集中して学習に取り組めるように保護者の皆様にも朝からの健康チェックと元気の出る言葉かけをよろしくお願ひします。

子供たちも地域へ貢献！

7月28日（日）に「大野下雨乞い奴踊り」があり、大野下地区の子供たちが参加し、数年ぶりに子供たちの雨乞い踊りが奉納されました。1年生から6年生までが、太鼓を叩く子や「奴地歌」を歌う子に合わせて、拳を天へ突き上げる力強い踊りを披露していました。

地域の伝統をしっかりと継承していくために、地域の方々が一つになってご努力されている姿に感動をいただきました。子供たちにとっても貴重な体験となり、地域のよさを感じるとともに、「豊かな心」の育成につながったのではと思います。



新しいALTの先生の紹介

エラ先生に代わり、新しいALTの先生が赴任されましたので、紹介します。

◆名前: ジョゼフ・ポツツフォード先生
「ジョー先生」でお願いします！

◆出身国: イギリス(イングランド)

◆趣味、特技: ジャズの演奏

筋力トレーニング

玉名に来られる前は、宮崎の高校でALTをされていたということで、日本語もご堪能な先生です。たくさんお話をし、早く仲良くなってほしいと思います。



人権尊重の精神に立った学校・地域づくりを

8月17日（土）に行われた玉名市人権・同和教育研究大会がありました。いじめや差別によってつらい思いをしている子、また、居場所がなくて孤立感を感じている子などがないように、改めて、「すべての子どもの思いや願いを受け止め、人と人を結び、子供たちをつなげる人権・同和教育を創造する」取組の推進を図っていく重要性を感じました。

そのために今後も学校では、人権が尊重される「授業づくり」「人間関係づくり」「環境づくり」を推進していきます。教室が、安心して過ごせるみんなで、学べる場となるように、共感的・支持的な風土づくりに努め、一人一人が有用感や成就感を実感できるような学校・学級経営を行っていきたいです。



また、全体会の中で、「孤育てから社会みんなで人育てを～子どもアドボカシーと大人の聴くスキル～」という演題で、社会福祉法人 甘木山学園 理事の坂口明夫様の講演がありました。

その中で、子育ては、「社会の責任」であり、「地域の多様な社会資源の活用とつながり」を大切にしながら、「地域での一体感」をもって取り組んでいくことで、保護者も子供たちも安心感をもつことができるというお話をありました。大野小でも、地域やPTA活動を大切にしながら、支え合える地域づくりができていけたらと改めて感じました。

その他に印象に残ったのが、18歳になるまでの「子ども期の良い（ポジティブ）体験」として挙げられた次の5つのポイントです。

- ① 自分の気持ちを家族の誰かに話すことができた。
- ② 大変な時に家族の誰かが支えてくれたと感じた。
- ③ 自分を気にかけてくれる親以外の大人がいた。
- ④ 家庭以外に居心地のよい居場所があった。
- ⑤ 友達などに支えられていると感じた。

これからも「家族・教師・友達・地域の支え」で、子供たちの安心感と自己肯定感を高めていきましょう。

～PTA美化作業お世話になりました～

8月18日（日）の美化作業は、早朝から大変お世話になりました。夏休みの初め頃に運動場を一度ならしていただいていたこともあり、例年よりも運動場の中の雑草の発生が少なくて済みました。

学校の敷地面積が広く、毎回ご負担をおかけしておりますが、学校再開に向け、隅々まで環境を整えていただき大変ありがとうございました。

